

アオサギ観察会 5/29

☆今回はヒナの成長を見てみましょう。

ヒナが自分の脚で立ち始めるのは孵化して2週間後。この頃から親の嘴をつかみ直接餌を食べるようになります。3週目が終わる頃にはヒナは自己防御ができるようになり親も巣を離れます。そして、4週目には枝伝いに巣の外へ出れるようになります…。けれども巣立ちまでは更にあと3週間待たなければなりません。



Mick Marquiss "Herons"



Mick Marquiss "Herons"

ヒナの食欲は旺盛です。最もよく食べる時期は孵化後17日目頃で、あんな小さな体で一日あたり330gを消費します。親が一度に運ぶ量はだいたい250g。4羽のヒナを育てた場合、繁殖期を通して運んでくる餌の量は、なんと100kgを超えてしまいます。

全てのヒナが無事に育つわけではありません。生まれてひと月は飢えの危険と隣り合わせです。それから巣立ちまではひとまず安心ですが、一人立ちした後は再び過酷な状況が待っています。無事に巣立っても翌春まで生き残る幼鳥は半数もいません。ただし、経験を積むにつれ餌とりも上手くなり18年もの長寿を全うした記録もあります



Mick Marquiss "Herons"